



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第33号



第三十一回敬老感謝祭

琴清苑最高齢者 酒井フサ様 明治40年6月11日生（100歳）

ごあいさつ

琴清苑生活相談員

小川 栄喜

奥多摩を思う

開設三十年を迎えての敬老感謝祭が、賑やかに開催出来まして、ご家族、ボランティア並びに関係者の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

琴清苑の所在する奥多摩は、これから徐々に山々から秋の装いを始め、十一月中旬には、琴清苑辺りまで、紅葉の彩を装ってくれます。この一、二年ですが、私は、デジカメで奥多摩の風景を撮っています。山と溪谷だけの風景ですが、私はその素材さが気に入っていて、カメラに収めています。ご家族の皆様もどうぞ、これから彩を増す奥多摩は如何ですか。面会と紅葉見物に出掛けて見ませんか。利用者の何よりの楽しみ喜びは、ご家族の面会だと思えます。どうぞ、大勢の来苑、来客をお待ちしています。

奥多摩見物だけでなく、奥多摩で働いて見ませんか。この業界では働き手が不足しています。琴清苑のそれは、更に深刻化の状況にあります。ご家族の皆様、お知り合いなどに、この業界で働いて見たいなどと、思われている方がおりましたら、是非紹介して頂き、自然美豊かな奥多摩の施設で老人介護福祉職員として働いて頂ければと願っています。

この先、介護を必要とするお年寄りが増えて行く状況は明らかでありながら、その担い手が不足して行くと言う、暗い先行きから、少しでも早く脱却して、自然の美しい、活気のある奥多摩を撮り続けて行きたいと思えます。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

東京都福祉サービス第三者評価結果報告について

○平成19年度東京都福祉サービス第三者評価を受審し、8月17日(金)寿楽荘において、特定非営利活動法人・福祉経営ネットワークによる寿楽荘・琴清苑合同の評価結果報告者報告会が行われました。

〈全体の講評〉

●特に良いと思う点

- 1.利用者の快適な生活を目標とした組織体制を維持している
- 2.職員の支援及びマナー向上に向けた施設内研修の実施
- 3.常勤医師の配置により医療が充実している

●さらなる改善が望まれる点

- 1.厳しい環境下における施設独自の中・長期経営計画策定への取り組み
- 2.利用者の個人の尊厳とプライバシー確保の徹底
- 3.快適な機能訓練室の実現とプログラムの充実

※ 詳細は『どうきょう福祉ナビゲーション・福祉サービス第三者評価』で結果を確認することができます。(http://www.fukumavi.or.jp/fukumavi/)

第三者評価結果を受けての諸規程等の整備について

第三者評価結果を受け、さらなるサービスの向上を図るため、個人情報保護規程・個人情報保護のための行動指針(個人情報保護のための宣言)・個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)・施設ボランティア受入規程・ボランティア受入時留意事項について等を整備し、平成19年10月1日より施行します。

平成19年度介護サービス情報の公表について

○平成19年度介護サービス情報公表調査が、社団法人・日本経営士会により8月15日(水)行われました。

※ 詳細は『どうきょう福祉ナビゲーション・介護サービス情報の公表』で結果を確認することができます。(http://www.fukumavi.or.jp/fukumavi/)



の法話を学び、座禅・作務(掃除)などを体験しました。

琴清苑では、創設者が曹洞宗の住職だったことから、曹洞宗社会福祉連盟に加入しています。今年も神奈川県鶴見区にある曹洞宗大本山総持寺において、19年度の研修会に2名の職員が参加しました。研修では、東北福祉大学中里仁先生による講演及び総持寺後堂 盛田正考老師

曹洞宗社会福祉連盟 平成十九年度研修会



近年、低賃金や離職率の多い職種として新聞やテレビ等で知られている介護職として10年間勤務されている職員が今年度は2名居ります。長い間経験を積み重ねられた職員は琴清苑の財産であります。これからも他の職員模範になるように活躍してもらいたいと思います。

増田朝子 介護職員
安藤 裕 介護職員

勤続10年表彰



施設内流し踊り
 利用者の重度化に伴い、琴清苑の前庭で行っていた盆踊りは、平成12年より止めてまいりましたが、今年は職員より盆踊りの雰囲気を楽しませてあげられないかと言う意見があり、利用者が居室内で寛ぎながら楽しめる、流し踊りをすることになりました。普段の制服から浴衣に着替えた職員の踊りを見て、雰囲気を楽しませて



**お盆の行事
 迎え火・送り火**

琴清苑ではお盆の行事として迎え火と送り火を行っております。三十年間に施設でお亡くなりになった利用者の方々をお迎えし、そしてお送りしながら利用してくださった皆様を思い出し、利用している皆様と共に偲んで供養させていただきます。



9月に入り、まれに見る大型台風9号が、この奥多摩をも直撃しました。台風が去ってからは、朝晩頬に触れる風も秋を感じる様になり、秋晴れにも恵まれた9月15日、敬老感謝祭が行なわれました。今年、最高齢一〇〇歳を迎えられた利用者様もおられ、町長はじめ来賓の方々による祝辞と記念品を頂きました。式典後に行なわれた演芸会では、この日の為に琴清苑OBも来苑され、踊りを披露して下さいました。又、西川寛之佑会の艶やかな踊りに見入り、羽黒三田神社囃子振興会の見事なお囃子に拍手と笑いで盛り上がり、利用者皆様も大喜びでした。

1階食堂では、ダーナの会による模擬店が開かれ、好みの物を注文され飲食しながら演芸を楽しんで頂く事が出来ました。今年も利用者様、御家族様、多くのボランティアにより、会場を盛り上げて頂き、敬老感謝祭を終える事が出来ました。これからも笑顔で生活して頂ける様、利用者様の気持ちに寄り添い、日々共に過ごして行きたいと思っております。

敬老感謝祭



小学生夏休みボランティア

昨年と同じメンバーが、今年も琴清苑を希望してやって来ました。敬老祭を飾る絵文字作りは、しっかり要領を得ていて、昨年以上の物を作って頂きました。メンバーが目標としていた「おじいちゃん、おばあちゃん」と仲良くになりたいという希望は、居室清掃で利用者のそばで動き回った事で、少し実現出来た様でした。自ら望んでボランティアにやって来た訳ですから、この意気込みを次のステップに活かして下さい。



祝い品受給者

- 【上寿】(100歳)酒井 フサ様
 - 【白寿】(99歳)原島 ヤス様
 - 【卒寿】(90歳)吉田 テツノ様・大川 トミノ様
 - 【米寿】(88歳)古川 羊様・内田 や江子様
河崎 磯子様
 - 【傘寿】(80歳)菅野 初代様・赤枝 幸子様
山田 秀雄様・山口 栄子様
 - 【喜寿】(77歳)西田 照代様・大堀 綾子様
 - 【古希】(70歳)関根 紳治様・深井 信子様
加藤 美代子様・小倉 久代様
佐藤 長吉様・出口 ミイ様
 - 【還暦】(61歳)該当者なし
 - 【男女最高齢者】
 - 【男】原島 勝男様
大正 4年 3月28日生(92歳)
 - 【女】酒井 フサ様
明治40年 6月11日生(100歳)
- おめでとうございます。

ドクター中野の星のおはなし No.26

中秋の名月・後の月・13夜など

牙え渡る秋の夕べに、鮮やかな月を眺め楽しむ風習は、はるか昔奈良朝時代から中国渡来の行事として伝わっている。「中秋の名月」は旧暦の8月、中秋となれば8月15日が秋の真ん中に置かれるという意味にもなる。この「名月の日」は旧暦で選ばれ、この日に祭壇を設けすすきで飾られ供物として酒・月餅・里芋・枝豆等があるが日本では団子のところ等もあり中国と違ってお月見団子も多いが、関西では里芋が多く九州では山傘を囲んでわらの帽子をかぶって踊るところもあると伝えられる。さて2007年、つまり今年の中秋の名月は9月25日(火)月齢14の日と決められた。この日付けはもちろん現在の新暦である。旧暦8月15日は現在の暦では何月何日に相当するのかという解答は一向にはっきりしない。なぜだろうということになるが原因は明治5年、旧暦から新暦へと改暦の折旧暦は公式に何一つ残しておかなかったためという。しかしどうして「中秋の名月」の日が決定されたのだろうか。公式ではないが神社や団体が独自の決算でこの名月の日が流布され又使用もされてきている。旧暦8月15日は新暦ならば9月か10月の満月の日に近いところに相当するということである。

ここで「後の月」とか「13夜」というお話が必要である。元来、中秋の名月は豊作を祈り収穫を祝う仕来りであり、稲刈り等一連の農作業が9月25日名月の日に間に合わないとい困るので9月25日より1ヶ月遅れで10月26日(金)月齢12.3「新暦」を「後の月」または13夜と命名し農作業に間に合うよう、わざわざ便利になるように日を設けたもので、どこでもお祭りは出来日本独自の発案である。15夜は満月、13夜は満月の2日前である。今年の中秋の名月は新暦で9月25日「後の月」「13夜」はやはり新暦10月23日と決定される。

月の年齢、月の満ち欠けぐあい

大抵の暦、カレンダーや新聞等で値が出ているので概略を記す。夕方 西空 三日月 月齢3 次第に月の出が早くなり右半分(上弦)月齢7 満月は月齢15、満月を過ぎると月の出は遅くなり左半分(下弦)月齢23となりさらに西の空に移ってゆく。

月の呼び名

月は三日月から毎日姿を変える。そして明るさも変わる。満月は細い月に比べると100倍も違う。月の出は毎日50分ずつ遅れる。満月は日没時東から出るが次の日の月は日が沈んでもなかなか出てこない。十六夜の月(いざよい)いざよいとは「ぐずぐずしている」の意。次の日立待ち月。その次は居待ち(いまち)さらに臥し(ふし)待ちの月と呼ばれている。満月もまたおもしろい。暗いところは海と呼ばれている。平坦な所、白い所はごろごろした岩が多い。秋空で月がさえて見えるのは秋に月が空高く見えるからである。イギリスのような緯度の高いところ、夏見える赤い月をストロベリームーンなどと呼ばれる。

月の光を浴びると気がふれるという諺があるが、小生もこの仲間ではないかと自問自答する。名月をご覧になる方のために月の小知識を少しおとどけまで。



満月
木星探査機ガリレオが撮った写真

編集後記
ススキの穂が揺れ虫の音が一晩中聞こえる季節になりました。食欲の秋に備えて食堂を模様替えしました。面会の折にはぜひゆっくりにとおくつき頂きたいと思えます。

ボランティア状況(7月~9月)
(敬称略)

シート交換
杉山 初
指圧奉仕
奥多摩奉仕会
敬老感謝祭
双葉ターナの会

入死された利用者(7月~9月)

7月	足立区	1名
7月	奥多摩町	1名
8月	練馬区	1名

行事予定

10月1日	運動会
10月23日	十三夜
10月26日	昼食会
11月5日	全館清掃
11月6日	全館清掃
12月30日	昼食会
12月20日	ゆず湯
12月21日	ゆず湯
12月22日	昼食会
12月23日	年忘れ会